

# 第148期 中間報告書

令和2年4月1日～令和2年9月30日



栗林商船株式会社

# CONTENTS

- 株主の皆様へ／P02
- 営業の概況（連結）／03
- 連結財務諸表／P06  
(第2四半期連結貸借対照表／第2四半期連結損益計算書／第2四半期連結包括利益計算書／第2四半期連結キャッシュ・フロー計算書（要約）)
- 連結事業別業績推移／P08
- 営業の概況（個別）／P09
- 財務諸表／P10  
(第2四半期貸借対照表／第2四半期損益計算書)
- 会社の概況／P12
- 株主メモ／P13
- 株主優待制度のご案内

表紙：神永丸  
2020年 9月 進水  
2021年 1月 就航予定

## 屋号 の由来

栗林グループ各社の社章であり、当社運航船のファンネルマークともなっている「丸七」（マルシチ）紋の由来は、遠く南北朝時代にまでさかのぼります。

肥後（熊本）の豪族菊地武光の後裔であった栗林家は、南朝に味方しましたが、戦いに敗れて越後（新潟）三条に逃れました。越後で栗林家は武士を捨てて呉服商人となり、以後代々「七郎治」を名乗りました。四代目からは、商人でありながら苗字帯刀を許された、格式ある家柄でありました。

八代目の五朔翁は新天地を求めて室蘭に渡り、新たに事業を興すにあたり、由緒ある「七郎治」の名前から「七」をとり、屋号を「丸七」にしたのです。

以来、伝統ある「丸七」紋は、栗林グループを象徴するマークとして、現在も息づいております。

株主の皆様には平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、当社第148期第2四半期連結累計期間（令和2年4月1日～令和2年9月30日）が終了いたしましたので、事業の概況についてご報告申し上げます。

当第2四半期の世界経済は、中国の武漢に端を発した新型コロナウイルス感染症の拡大が世界的に大流行する所謂パンデミックの状態となり、流行拡大を阻止するため世界の主要な都市はロックダウンとなり、経済活動は世界規模で大きく停滞いたしました。

日本でも4月7日から5月25日までの間、政府が緊急事態宣言を発令し、社会生活を維持する上で必要な施設以外は原則営業自粛要請を行ったため、社会生活は一変し、経済活動は大きく落ち込みました。その後経済活動は段階的に再開しておりますが、現在もお感染の収束が見通せないことから、社会生活に大きな影響を与えています。

そのような状況の中で当社は、海運事業では北海道定期航路において主力の紙製品の輸送量が大きく落ち込んだのをはじめ、一般雑貨や商品車も前年を大きく下回る荷動きとなりました。またホテル事業でも旅行需要は一挙に消滅し、緊急事態宣言中の4月26日から6月18日まで臨時休業としたこともあり、当第2四半期連結累計期間の売上高は19,921百万円（前期比15.0%減）、経常段階では115百万円の損失、親会社株主に帰属する四半期純利益は159百万円（前期比38.6%減）となりました。

今後もコロナ禍の収束が見通せない中、引き続き厳しい状況が続くと推察されますが、より一層の運航効率の向上とコスト削減を行い、収益の回復を図る所存であります。

株主の皆様には、今後ともなお一層のご指導とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

令和2年12月

代表取締役社長 栗 林 宏 吉

## 営業の経過および成果

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症再拡大の懸念はあるものの、緊急事態宣言解除後は段階的な経済活動の再開によって持ち直しの動きが見られておりますが、景気の回復には程遠い状況が続いております。

海外においても新型コロナウイルス感染症は依然拡大を続けており収束が見えていない中で、経済活動の段階的な再開により、景気は持ち直しの期待があるものの、依然として厳しい状況が続いております。

このような経済情勢の中で当社グループの海運事業において、北海道定期航路では、第1四半期に比べ取扱貨物は持ち直しの動きが見えるものの厳しい経営環境が続いており、燃料費は前年に比べて減少いたしました。貨物輸送量の低迷により減収、減益となりました。近海航路は、閑散とした市況が続いておりますが、三国間定期航路は堅調に推移いたしました。

ホテル事業においては、訪日外国人客数の激減や経済活動の停滞により宿泊需要が低迷し、大幅な減収、減益となりました。不動産事業においては概ね順調に推移しております。

以上の結果、売上高が前年度に比べて35億1千9百万円減（15.0%減）の199億2千1百万円、営業損益が前年度に比べて6億3千万円減の2億7千6百万円の営業損失、経常損益が前年度に比べて6億3百万円減の1億1千5百万円の経常損失、親会社株主に帰属する四半期純利益が前年度に比べて1億円減（38.6%減）の1億5千9百万円となりました。

セグメントの状況は、以下のとおりであります。

### 「海運事業」

北海道定期航路では、新型コロナウイルス感染症の影響によって景気は急速に悪化しましたが、段階的な経済活動の再開によって持ち直しの動きが見られ、農作物などの一部の貨物輸送量は増加した一方で、主力貨物である紙製品の輸送量は減少し消席率の低下を招き、厳しい経営環境となりました。燃料費については燃料油価格の下落や減便の影響もあり、前年に比べて減少しましたが、貨物輸送量が前年を下回ったことで、減収、減益となりました。近海航路では、市況は閑散としておりますが、中国では景気持ち直しの動きが続いており、三国間定期航路は堅調に推移いたしました。これらの結果、売上高は前年度に比べて26億9千2百万円減（12.2%減）の193億9千4百万円となり、営業費用は前年度に比べて23億7千3百万円減（10.8%減）の195億8百万円で、営業損益は前年度に比べて3億1千9百万円減の1億1千3百万円の営業損失となりました。

### 「ホテル事業」

新型コロナウイルス感染症拡大防止に向けた緊急事態宣言による渡航規制や外出自粛等によって、宿泊需要が激減して集客が困難となり、4月26日から6月18日までの間、臨時休業となりました。その後の段階的な経済活動の再開や観光支援事業によって宿泊需要は持ち直しの動きが見られ、業績は改善してきましたが、宿泊者が週末や連休に偏り、さらに新型コロナウイルス感染症対策費用の計上もあり、減収、減益となりました。これらの結果、売上高は前年度に比べて8億2千9百万円減（78.7%減）の2億2千4百万円となり、営業費用は前年度に比べて5億1千8百万円減（50.7%減）の5億4百万円で、営業損益は前年度に比べて3億1千1百万円減の2億7千9百万円の営業損失となりました。

### 「不動産事業」

前年度と同様に順調に推移し、売上高は前年度に比べて2百万円増（0.8%増）の3億4千2百万円となり、営業費用は前年度に比べて2百万円増（1.0%増）の2億2千4百万円で、営業利益は前年度並みの1億1千7百万円となりました。

## 対処すべき課題

### ①グループ各社との連携

グループ各社の果たすべき役割の明確化、営業活動の連携強化を図り、新規荷主及び貨物を常に関拓するとともに、適正な船隊構成の確立を図ります。

### ②効率的な運航形態の追求

CO<sub>2</sub>削減など環境保全の面からも、定時入出港、運航頻度に応じた適正な配船計画を行い、より効率的な運航形態を追求します。

### ③内部統制の強化

グループ各社のリスク管理体制を確立し、業務及び財務などにおける全社的な内部統制を行い、適宜見直すことで、業務の適正を確保して不祥事の発生を防止します。

### ④主要船舶の代替建造

当社の主要航路に配船しているRORO船には、代替建造の時期を迎えている船舶があります。こうした船舶の保守・管理は、コストを抑え効率的に対応していますが、今後の新造船建造計画に関しては、荷主、グループ各社など関係各社と打ち合わせを行い、最適な形で設備の更新を進めております。船舶の大型化、省エネ化により、船隊構成の最適化とともに環境に配慮した船隊整備を目指しております。

### ⑤人材の確保

一般的に船員の高齢化が叫ばれておりますが、当社の船員は平均年齢37.5歳であり、近年は大学卒・高専卒の新卒船員も増えて参りました。今後も優秀な船員の確保を進めるとともに、船舶安全運航の技術伝承の為に、重複乗船期間の設定やシュミレーターによる研修、陸上勤務のローテーション等を実施してまいります。当社船員は、労働組合に所属しておりますが、国民保護法に指定される船社としての自覚も教育しております。

また、陸上従業員（現業・事務職）につきましては、企業の持続的な成長に応じた人材の育成に当たり、現在人事制度の見直しを行っております。社員が高いモチベーションを持って日々の業務を行い、当社グループの一員として顧客に対し誠実に向き合って信頼を勝ち取り、末永く顧客とともに社会に貢献できる人材の育成を目指してまいります。

### ⑥金利の変動

当社グループの設備・運転資金は主に金融機関から調達しています。今後の景気動向によって調達金利が収益に大きな影響を与えないよう、金利の固定化や資金調達の多様化を進めます。

### ⑦安全対策の強化

グループ各社は、船舶運航、港湾荷役、車両運行などの業務遂行における安全の確保に努めています。安全管理規程、安全作業基準の順守はもとより、災害対策マニュアルなどの安全対策及び不慮の事故に備えた各種保険の適宜見直しを行い、大規模な自然災害、感染症によるパンデミックの発生時にも事業を継続できる体制の構築を目指します。

### ⑧新型コロナウイルス感染症への対応

新型コロナウイルス感染症拡大の影響は、経済活動の停滞による業績への影響だけに止まらずに、感染拡大防止と従業員並びに関係者の安全確保のために、在宅勤務の活用など当社の就業形態を変更して対応いたしました。今後も感染症によるパンデミックの発生以外にも自然災害などの外的要因に対して、事業を継続できる環境整備を進めてまいります。

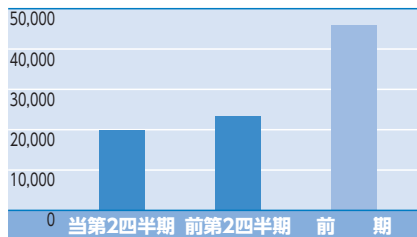
# 営業の概況（連結）

## ●営業成績及び財産の状況の推移（連結）

| 区分 \ 期別                       | 当第2四半期<br>自 令和2年4月1日<br>至 令和2年9月30日 | 前第2四半期<br>自 平成31年4月1日<br>至 令和元年9月30日 | 前期<br>自 平成31年4月1日<br>至 令和2年3月31日 |
|-------------------------------|-------------------------------------|--------------------------------------|----------------------------------|
| 売上高（百万円）                      | 19,921                              | 23,440                               | 45,991                           |
| 経常利益又は経常損失（△）（百万円）            | △115                                | 488                                  | 684                              |
| 親会社株主に帰属する<br>四半期（当期）純利益（百万円） | 159                                 | 259                                  | 430                              |
| 1株当たり四半期（当期）純利益（円）            | 12.57                               | 20.55                                | 34.12                            |
| 総資産（百万円）                      | 63,060                              | 55,856                               | 63,859                           |
| 純資産（百万円）                      | 20,567                              | 21,134                               | 20,677                           |

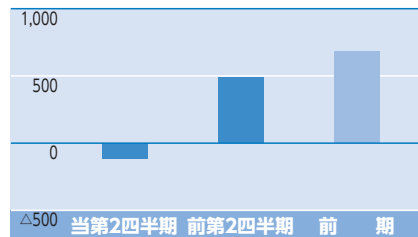
（注）売上高、経常利益又は経常損失（△）、親会社（当期）純利益、総資産、純資産の金額は百万円未満を切捨てて表示しております。

### ●売上高



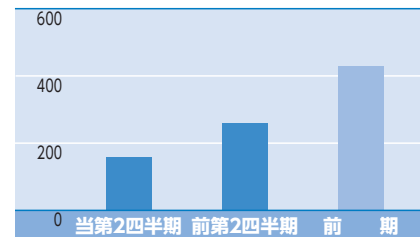
（単位:百万円）

### ●経常利益又は経常損失（△）



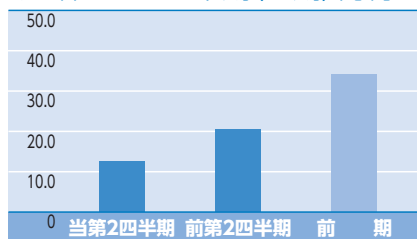
（単位:百万円）

### ●親会社株主に帰属する四半期（当期）純利益



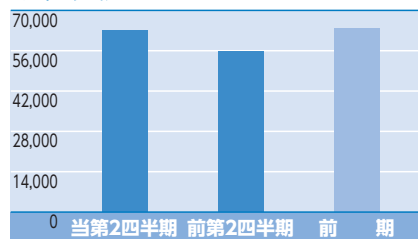
（単位:百万円）

### ●1株当たり四半期（当期）純利益



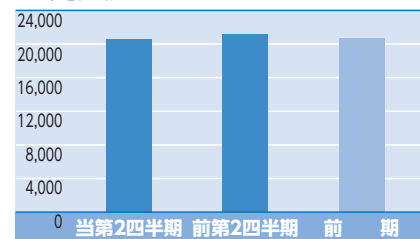
（単位:円）

### ●総資産



（単位:百万円）

### ●純資産



（単位:百万円）

第2 四半期連結貸借対照表 (令和2年9月30日現在)

(単位：千円)

| 科 目       | 金 額        | 科 目           | 金 額        |
|-----------|------------|---------------|------------|
| 資産の部      |            | 負債の部          |            |
| 流動資産      | 18,165,359 | 流動負債          | 16,628,653 |
| 現金及び預金    | 8,968,906  | 支払手形及び買掛金     | 5,485,607  |
| 受取手形及び売掛金 | 8,335,625  | 短期借入金         | 5,444,629  |
| 商品及び製品    | 42,920     | 1年以内返済予定長期借入金 | 2,639,923  |
| 原材料及び貯蔵品  | 236,577    | 1年以内支払予定長期未払金 | 609,912    |
| 未収入金      | 179,757    | 1年以内償還予定社債    | 276,460    |
| その他流動資産   | 402,015    | リース債務         | 292,359    |
| 貸倒引当金     | △443       | 未払法人税等        | 295,040    |
| 固定資産      | 44,881,180 | 賞与引当金         | 452,187    |
| 有形固定資産    | 33,604,044 | 備船解約損失引当金     | 130,000    |
| 船舶        | 15,001,394 | その他流動負債       | 1,002,533  |
| 建物及び構築物   | 5,750,121  | 固定負債          | 25,863,451 |
| 機械装置及び運搬具 | 1,021,027  | 社債            | 958,000    |
| 土地        | 10,100,678 | 長期借入金         | 11,944,790 |
| リース資産     | 859,001    | 長期未払金         | 7,461,474  |
| 建設仮勘定     | 434,650    | リース債務         | 663,156    |
| その他有形固定資産 | 437,171    | 繰延税金負債        | 1,540,717  |
| 無形固定資産    | 1,259,911  | 役員退職慰労引当金     | 584,986    |
| 借地権       | 1,033,258  | 退職給付に係る負債     | 2,277,989  |
| ソフトウェア    | 77,220     | 負債のれん         | 236,954    |
| のれん       | 112,387    | その他固定負債       | 195,383    |
| その他無形固定資産 | 37,045     | 負債合計          | 42,492,105 |
| 投資その他の資産  | 10,017,225 | 純資産の部         |            |
| 投資有価証券    | 8,463,924  | 株主資本          | 15,461,265 |
| 長期貸付金     | 208        | 資本剰余金         | 1,215,035  |
| 繰延税金資産    | 543,020    | 資本剰余金         | 978,012    |
| 保険積立金     | 644,642    | 利益剰余金         | 13,288,993 |
| その他投資資金   | 403,616    | 自己株式          | △20,775    |
| 貸倒引当金     | △38,186    | その他の包括利益累計額   | 2,082,069  |
| 繰延資産      | 13,476     | その他有価証券評価差額金  | 2,082,163  |
| 社債発行費     | 13,476     | 繰延ヘッジ損益       | △93        |
| 資産合計      | 63,060,016 | 非支配株主持分       | 3,024,574  |
|           |            | 純資産合計         | 20,567,910 |
|           |            | 負債純資産合計       | 63,060,016 |

(注) 1. 記載金額は千円未満を切捨てて表示しております。  
2. 有形固定資産の減価償却累計額 51,663,593千円  
3. 担保に供している資産 有形固定資産 11,416,634千円  
投資有価証券 4,561,391千円

●第2四半期連結損益計算書 (自令和2年4月1日 至 令和2年9月30日) (単位：千円)

| 科 目              | 金 額        |
|------------------|------------|
| 売上高              | 19,921,052 |
| 売上原価             | 17,208,296 |
| 売上総利益            | 2,712,756  |
| 販売費及び一般管理費       | 2,988,985  |
| 営業損失             | 276,228    |
| 営業外収益            | 332,628    |
| 受取利息             | 93         |
| 受取配当金            | 148,438    |
| 助成金収入            | 34,006     |
| 負ののれん償却額         | 40,544     |
| 持分法による投資利益       | 23,402     |
| 受取保険金            | 499        |
| その他営業外収益         | 85,643     |
| 営業外費用            | 171,750    |
| 支払利息             | 132,496    |
| その他営業外費用         | 39,253     |
| 経常損失             | 115,350    |
| 特別利益             | 640,239    |
| 固定資産処分益          | 398,763    |
| 保険解約返戻金          | 682        |
| 負ののれん発生益         | 161,338    |
| 補助金収入            | 50,193     |
| 助成金収入            | 29,261     |
| 特別損失             | 218,477    |
| 減損損失             | 5,112      |
| 臨時休業による損失        | 79,757     |
| 傭船解約損失引当金繰入額     | 130,000    |
| その他特別損失          | 3,607      |
| 税金等調整前四半期純利益     | 306,411    |
| 法人税・住民税及び事業税     | 111,073    |
| 法人税等調整額          | 58,487     |
| 四半期純利益           | 136,851    |
| 非支配株主に帰属する四半期純利益 | △22,150    |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益 | 159,001    |

(注) 記載金額は千円未満を切捨てて表示しております。

●第2四半期連結包括利益計算書 (自令和2年4月1日 至 令和2年9月30日) (単位：千円)

| 科 目             | 金 額     |
|-----------------|---------|
| 四半期純利益          | 136,851 |
| その他の包括利益        |         |
| その他有価証券評価差額金    | △66,976 |
| 繰延ヘッジ損益         | 130     |
| その他の包括利益合計      | △66,845 |
| 四半期包括利益         | 70,005  |
| (内訳)            |         |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 97,823  |
| 非支配株主に係る四半期包括利益 | △27,818 |

(注) 記載金額は千円未満を切捨てて表示しております。

●第2四半期連結キャッシュ・フロー計算書 (要約) (自令和2年4月1日 至 令和2年9月30日) (単位：千円)

| 科 目              | 金 額        |
|------------------|------------|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 1,811,756  |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △1,023,461 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △395,916   |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | 1,082      |
| 現金及び現金同等物の増減額    | 393,460    |
| 現金及び現金同等物の期首残高   | 8,120,146  |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高 | 8,513,607  |

(注) 記載金額は千円未満を切捨てて表示しております。

# 連結事業別業績推移

## ●令和2年9月第2四半期 (自 令和2年4月1日 至 令和2年9月30日)

単位：千円

|                           | 海 運 事 業    | ホ テ ル 事 業 | 不 動 産 事 業 | 計          | 消 去 又 は 全 社 | 四半期連結損益<br>計算書計上額 |
|---------------------------|------------|-----------|-----------|------------|-------------|-------------------|
| 売 上 高                     |            |           |           |            |             |                   |
| (1) 外 部 顧 客 対 する 売 上 高    | 19,394,723 | 224,146   | 302,182   | 19,921,052 | —           | 19,921,052        |
| (2) セグメント間の内部売上高又は振替高     | —          | —         | 39,829    | 39,829     | △39,829     | —                 |
| 計                         | 19,394,723 | 224,146   | 342,012   | 19,960,882 | △39,829     | 19,921,052        |
| 営 業 費 用                   | 19,508,323 | 504,012   | 224,775   | 20,237,110 | △39,827     | 20,197,281        |
| 営 業 利 益 又 は 営 業 損 失 ( △ ) | △113,599   | △279,866  | 117,237   | △276,228   | —           | △276,228          |

## ●令和元年9月第2四半期 (自 平成31年4月1日 至 令和元年9月30日)

単位：千円

|                        | 海 運 事 業    | ホ テ ル 事 業 | 不 動 産 事 業 | 計          | 消 去 又 は 全 社 | 四半期連結損益<br>計算書計上額 |
|------------------------|------------|-----------|-----------|------------|-------------|-------------------|
| 売 上 高                  |            |           |           |            |             |                   |
| (1) 外 部 顧 客 対 する 売 上 高 | 22,087,146 | 1,054,085 | 299,458   | 23,440,689 | —           | 23,440,689        |
| (2) セグメント間の内部売上高又は振替高  | —          | —         | 39,861    | 39,861     | △39,861     | —                 |
| 計                      | 22,087,146 | 1,054,085 | 339,319   | 23,480,550 | △39,861     | 23,440,689        |
| 営 業 費 用                | 21,881,425 | 1,022,547 | 222,584   | 23,126,557 | △39,861     | 23,086,695        |
| 営 業 利 益                | 205,720    | 31,537    | 116,734   | 353,993    | —           | 353,993           |

## ●令和2年3月期 (自 平成31年4月1日 至 令和2年3月31日)

単位：千円

|                           | 海 運 事 業    | ホ テ ル 事 業 | 不 動 産 事 業 | 計          | 消 去 又 は 全 社 | 連結財務諸表<br>計上額 |
|---------------------------|------------|-----------|-----------|------------|-------------|---------------|
| 売 上 高                     |            |           |           |            |             |               |
| (1) 外 部 顧 客 対 する 売 上 高    | 43,489,107 | 1,902,997 | 599,362   | 45,991,467 | —           | 45,991,467    |
| (2) セグメント間の内部売上高又は振替高     | —          | —         | 79,523    | 79,523     | △79,523     | —             |
| 計                         | 43,489,107 | 1,902,997 | 678,886   | 46,070,991 | △79,523     | 45,991,467    |
| 営 業 費 用                   | 43,285,908 | 1,943,420 | 403,870   | 45,633,199 | △79,523     | 45,553,675    |
| 営 業 利 益 又 は 営 業 損 失 ( △ ) | 203,199    | △40,422   | 275,015   | 437,792    | —           | 437,792       |

(注) 1. 事業区分の方法

日本産業標準分類を参考に、役務の種類・性質の類似性を考慮して区分しております。

2. 各区分に属する主要な事業・役務の名称

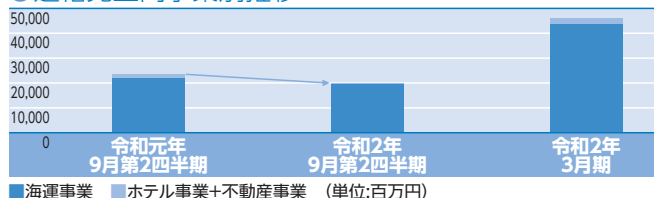
海 運 事 業 内航海運事業、外航海運事業、一般旅客フェリー事業、港湾運送事業の海運周辺事業

ホ テ ル 事 業 北海道地区におけるリゾートホテル事業

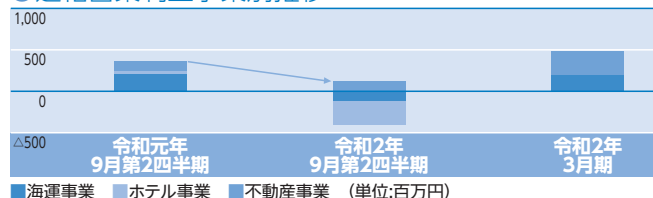
不 動 産 事 業 不動産の賃貸・管理事業

3. 営業費用の共通費はすべてセグメント別に配賦しております。

## ●連結売上高事業別推移



## ●連結営業利益事業別推移



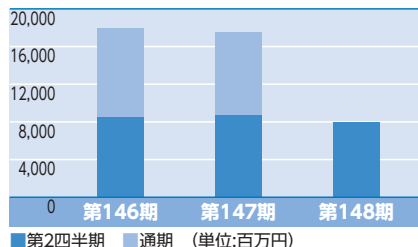
# 営業の概況（個別）

## ●営業成績及び財産の状況の推移

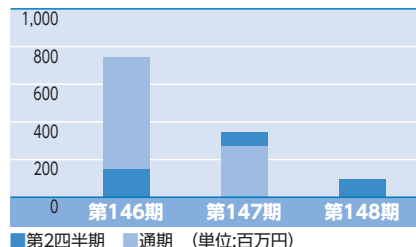
| 区分 \ 期別                       | 当第2四半期<br>自令和2年4月1日<br>至令和2年9月30日 | 前第2四半期<br>自平成31年4月1日<br>至令和元年9月30日 | 前期<br>自平成31年4月1日<br>至令和2年3月31日 |
|-------------------------------|-----------------------------------|------------------------------------|--------------------------------|
| 営業収益（百万円）                     | 7,936                             | 8,734                              | 17,511                         |
| 経常利益（百万円）                     | 95                                | 344                                | 272                            |
| 四半期(当期)純利益又は四半期純損失(△)（百万円）    | △64                               | 243                                | 145                            |
| 1株当たり四半期(当期)純利益又は四半期純損失(△)（円） | △5.09                             | 19.35                              | 11.52                          |
| 総資産（百万円）                      | 23,937                            | 22,547                             | 25,096                         |
| 純資産（百万円）                      | 7,786                             | 8,585                              | 7,974                          |

（注）営業収益、経常利益、四半期（当期）純利益又は四半期純損失（△）、総資産、純資産の金額は百万円未満を切捨てて表示しております。

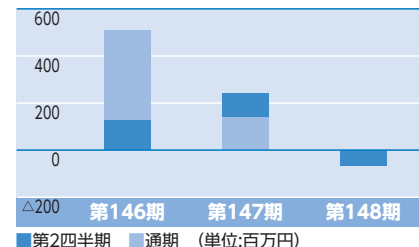
### ●営業収益



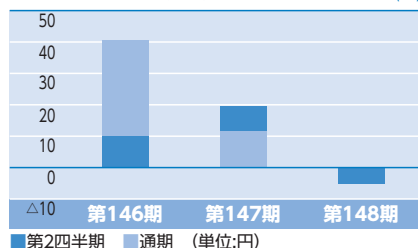
### ●経常利益



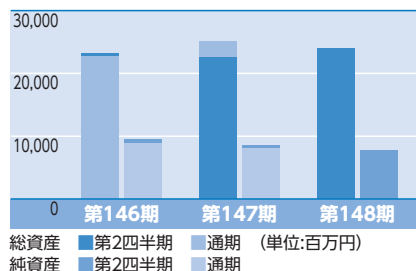
### ●四半期(当期)純利益又は四半期純損失(△)



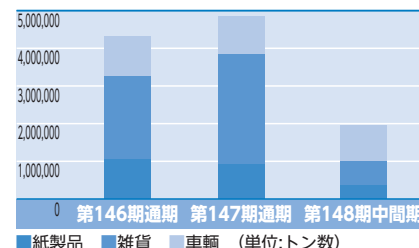
### ●1株当たり四半期(当期)純利益又は四半期純損失(△)



### ●総資産／純資産



### ●貨物別輸送推移



【備考】雑貨には鋼材及び古紙を含みます。

●第2 四半期貸借対照表 (令和2年9月30日現在)

(単位：千円)

| 科 目        | 金 額        | 科 目           | 金 額        |
|------------|------------|---------------|------------|
| 資産の部       |            | 負債の部          |            |
| 流動資産       | 4,792,307  | 流動負債          | 6,576,485  |
| 現金及び預金     | 1,136,781  | 海運業未払金        | 1,830,220  |
| 受取手形       | 26,817     | 短期借入金         | 2,400,000  |
| 海運業未収金     | 3,381,590  | 1年以内返済予定長期借入金 | 1,714,714  |
| 貯蔵品        | 119,455    | 1年以内償還予定社債    | 170,000    |
| 未収入金       | 82,362     | －ス債           | 110,631    |
| 短期貸付金      | 499        | 未払費用          | 23,107     |
| その他の流動資産   | 44,840     | 未払法人税等        | 27,398     |
| 貸倒引当金      | △40        | 払与引当金         | 18,878     |
| 固定資産       | 19,137,808 | 船の他流動負債       | 22,238     |
| 有形固定資産     | 8,144,590  | 固定負債          | 130,000    |
| 船舶         | 5,042,900  | 社長期借入金        | 129,297    |
| 建物         | 322,400    | 繰上債           | 9,574,553  |
| 構築物        | 1,758      | 繰上債           | 520,000    |
| 車両及び運搬具    | 146,592    | 繰上債           | 7,560,480  |
| 工具器具備品     | 179,967    | 繰上債           | 249,733    |
| 土地         | 2,122,110  | 繰上債           | 743,633    |
| リース資産      | 328,860    | 繰上債           | 161,140    |
| 無形固定資産     | 16,236     | 繰上債           | 329,564    |
| 借地権        | 4,870      | 繰上債           | 10,001     |
| その他の無形固定資産 | 11,366     | 負債合計          | 16,151,039 |
| 投資その他の資産   | 10,976,981 | 純資産の部         |            |
| 投資有価証券     | 6,568,658  | 株主資本          | 6,052,199  |
| 関係会社株      | 2,310,187  | 資本            | 1,215,035  |
| 長期貸付金      | 2,500,208  | 資本            | 750,970    |
| 会費積立金      | 14,320     | 資本            | 750,970    |
| 保険保証金      | 281,015    | 資本            | 4,106,969  |
| 差入の他投資金    | 126,097    | 資本            | 235,800    |
| 貸倒引当金      | 31,457     | 資本            | 3,871,169  |
| 繰延資産       | △854,962   | 資本            | 120,127    |
| 社債発行費      | 7,261      | 資本            | 1,665,000  |
| 資産合計       | 23,937,377 | 資本            | 2,086,042  |
|            |            | 資本            | △20,775    |
|            |            | 資本            | 1,734,138  |
|            |            | 資本            | 1,734,231  |
|            |            | 資本            | △93        |
|            |            | 純資産合計         | 7,786,338  |
|            |            | 負債純資産合計       | 23,937,377 |

(注) 1. 記載金額は千円未満を切捨てて表示しております。  
2. 有形固定資産の減価償却累計額 12,592,384千円  
3. 担保に供している資産 有形固定資産 5,558,056千円  
投資有価証券 4,561,391千円  
4. 保証債務 13,686,431千円

## ●第2 四半期損益計算書 (自 令和2年4月1日 至 令和2年9月30日)

(単位：千円)

| 科 目          | 金         | 額         |
|--------------|-----------|-----------|
| 海運業収益        |           | 7,884,270 |
| 海運業航費        | 3,208,797 |           |
| 運船借          | 677,964   |           |
| 船料           | 3,539,028 | 7,425,790 |
| 海運業利益        |           | 458,479   |
| その他の事業収益     |           | 51,948    |
| その他の事業費用     |           | 23,616    |
| その他の事業利益     |           | 28,332    |
| 営業総利益        |           | 486,811   |
| 一般管理費        |           | 504,391   |
| 営業損失         |           | 17,580    |
| 営業外収益        |           |           |
| 受取利息         | 21,809    |           |
| 受取配当金        | 152,652   |           |
| その他の営業外収益    | 17,701    | 192,163   |
| 営業外費用        |           |           |
| 支払利息         | 47,575    |           |
| 社債利息         | 2,422     |           |
| 社債発行費償却      | 2,385     |           |
| その他の営業外費用    | 26,629    | 79,013    |
| 経常利益         |           | 95,570    |
| 特別利益         |           |           |
| 補助金収入        | 10,392    | 10,915    |
| その他の特別利益     | 523       | 10,915    |
| 特別損失         |           |           |
| 固定資産売却損      | 627       |           |
| 固定資産減損損失     | 5,112     |           |
| 備船解約損失引当金繰入額 | 130,000   | 135,739   |
| 税引前四半期純損失    |           | 29,253    |
| 法人税・住民税及び事業税 |           | 29,817    |
| 法人税等調整額      |           | 5,361     |
| 四半期純損失       |           | 64,433    |

(注) 記載金額は千円未満を切捨てて表示しております。

●主要な事業内容

当社は北海道と東京・大阪・名古屋・清水ならびに仙台を結ぶ海上運送事業を主たる事業としている内航船社であり、北海道室蘭ならびに苫小牧に株式会社栗林商会、釧路に三ッ輪運輸株式会社、東京に栗林運輸株式会社、大阪に大和運輸株式会社、仙台に三陸運輸株式会社等の栗林グループの港湾荷役会社があり、輸送物資の集配および積揚などを行い、栗林グループ内で所有する約3,000台のトレーラーの有効利用を図り海陸一貫輸送の事業に従事しております。

●事業所

| 名 称       | 所在地                  | 代表電話番号       |
|-----------|----------------------|--------------|
| 本 店       | 東京都千代田区大手町二丁目2番1号    | 03-5203-7981 |
| 室 蘭 支 店   | 北海道室蘭市入江町1番地19       | 0143-22-4317 |
| 苫 小 牧 支 社 | 北海道苫小牧市元中野町2丁目13番16号 | 0144-33-2160 |
| 釧 路 支 社   | 北海道釧路市錦町5丁目3番地       | 0154-22-1537 |
| 仙 台 営 業 所 | 宮城県仙台市宮城野区港4丁目9番6号   | 022-388-7078 |

●ホームページアドレス

<https://www.kuribayashishosen.com>

●運航船腹の状況

| 区 分     | 隻 数 | 重量トン数 (D/W) |
|---------|-----|-------------|
| 社 船     | 3   | 20,637      |
| 支 配 下 船 | 11  | 43,987      |
| 合 計     | 14  | 64,624      |

●社船一覧表

| 船 名   | 総トン数 (G/T) | 重量トン数 (D/W) | 建造年   | 航海速力 (ノット) |
|-------|------------|-------------|-------|------------|
| 神 明 丸 | 13,091     | 6,885       | 平成12年 | 21.00      |
| 神 瑞 丸 | 13,097     | 6,802       | 平成13年 | 21.20      |
| 神 珠 丸 | 14,052     | 6,950       | 令和元年  | 21.50      |
| 合 計   | 40,240     | 20,637      |       |            |

●株式の状況

|          |                               |
|----------|-------------------------------|
| 発行可能株式総数 | 40,000,000株                   |
| 発行済株式の総数 | 12,739,696株 (自己株式75,439株を含む。) |
| 資 本 金    | 1,215,035,325円                |
| 株 主 数    | 1,324名                        |

●従業員 の 状況

| 区 分       |     | 従 業 員 数 |
|-----------|-----|---------|
| 陸 上 従 業 員 | 男 性 | 31名     |
|           | 女 性 | 13名     |
|           | 計   | 44名     |
| 海 上 従 業 員 | 男 性 | 1名      |
|           | 女 性 | 0名      |
|           | 計   | 1名      |
| 合 計       |     | 45名     |

●取締役および監査役

|           |         |           |         |
|-----------|---------|-----------|---------|
| 代表取締役会長   | 栗 林 定 友 | 取 締 役     | 稲 田 博 久 |
| 代表取締役社長   | 栗 林 宏 吉 | 取 締 役     | 栗 林 広 行 |
| 専 務 取 締 役 | 神 田 良 夫 | 取 締 役     | 大 川 康 治 |
| 常 務 取 締 役 | 小 柳 圭 治 | 常 勤 監 査 役 | 坂 上 隆   |
| 常 務 取 締 役 | 小 谷 均   | 監 査 役     | 廣 渡 鉄   |
| 常 務 取 締 役 | 楠 肇     | 監 査 役     | 松 井 伸 二 |

(注) 1. 取締役大川 康治氏は社外取締役であります。  
2. 監査役坂上 隆氏、廣渡 鉄氏および松井 伸二氏は社外監査役であります。

●栗林商船グループ各社

|      | 会 社 名                               |
|------|-------------------------------------|
| 連結会社 | 栗 林 運 輸 株 式 会 社                     |
|      | 八 千 代 運 輸 株 式 会 社                   |
|      | 三 陸 運 輸 株 式 会 社                     |
|      | 三 陸 輸 送 株 式 会 社                     |
|      | 共 栄 運 輸 株 式 会 社                     |
|      | 共 栄 陸 運 株 式 会 社                     |
|      | 北 日 本 海 運 株 式 会 社                   |
|      | 大 和 運 輸 株 式 会 社                     |
|      | 栗 林 物 流 シ ス テ ム 株 式 会 社             |
|      | 栗 林 マ リ タ イ ム 株 式 会 社               |
|      | 株 式 会 社 ケ イ セ ブ ン                   |
|      | 株 式 会 社 登 別 グ ラ ン ド ホ テ ル           |
|      | 株 式 会 社 セ ブ ン                       |
|      | C L O V E R M A R I T I M E S . A . |

(注) 2020年9月1日 北日本海運株式会社が連結会社となりました。

●株主メモ

|               |                                                                                                                                                                                            |
|---------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 事 業 年 度       | 毎年4月1日から翌年3月31日まで                                                                                                                                                                          |
| 定 時 株 主 総 会   | 毎年6月下旬                                                                                                                                                                                     |
| 剰余金の配当の基準日    | 毎年3月31日<br>なお、中間配当を行うときの中間配当の基準日は、毎年9月30日。                                                                                                                                                 |
| 公 告 方 法       | 電子公告の方法により当社ホームページに掲載いたします。<br>( <a href="https://www.kuribayashishosen.com">https://www.kuribayashishosen.com</a> )<br>ただし、電子公告によることができない事故その他やむを得ない事由が生じたときは、東京都において発行される日本経済新聞に公告いたします。 |
| 株 主 名 簿 管 理 人 | 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号                                                                                                                                                                          |
| 特別口座の口座管理機関   | 三井住友信託銀行株式会社                                                                                                                                                                               |
| 郵便物送付先        | 〒168-0063<br>東京都杉並区和泉二丁目8番4号<br>三井住友信託銀行株式会社 証券代行部                                                                                                                                         |
| ( 電 話 照 会 先 ) | 電話 0120-782-031 (フリーダイヤル)<br>取次事務は三井住友信託銀行株式会社の全国各支店で行っております。                                                                                                                              |

- ・住所変更、単元未満株式買取等のお申出先について  
株主様の口座のある証券会社にお申出ください。  
なお、証券会社に口座がないため特別口座が設置されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。
- ・未払配当金の支払いについて  
株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

# 株主優待制度のご案内

当社のグループ会社である登別グランドホテルの宿泊基本料金の50%割引券（1枚にて1名様のご利用）を贈呈します。  
割引券は定時株主総会の決議通知に同封します。

## 割引券の贈呈枚数

※2020年3月末現在

| ご 所 有 株 式 数 | 贈 呈 枚 数 |
|-------------|---------|
| 1,000株以上    | 2枚      |
| 5,000株以上    | 4枚      |
| 10,000株以上   | 6枚      |
| 50,000株以上   | 10枚     |
| 100,000株以上  | 20枚     |

## 外観



## 露天風呂



祝いの宿

登別グランドホテル

〒059-0592 北海道登別市登別温泉町154  
TEL. (0143) 84-2101



祝いの宿

検索

UD  
FONT

ユニバーサルデザイン(UD)の考え方に  
基づき、より多くの人へ適切に情報を伝え  
られるよう配慮した見やすいユニバーサル  
デザインフォントを採用しています。

<https://www.nobogura.co.jp/>

